

算数科・数学科部門

●総評●

今年は、パソコンや消費税のような新しい題材が登場してより多彩になり、レベルも上がってきたといえます。

また、毎日の授業を発展させた作品が多くみられたのも、今年の特徴です。

自分で身近なことを調べ、グラフ化した作品も

目立ちましたが、ただ調べるだけでなく、自分なりの動機や考察をのせることも大切です。まとめ方の工夫しだいで、よりすばらしい作品が増えることと思います。

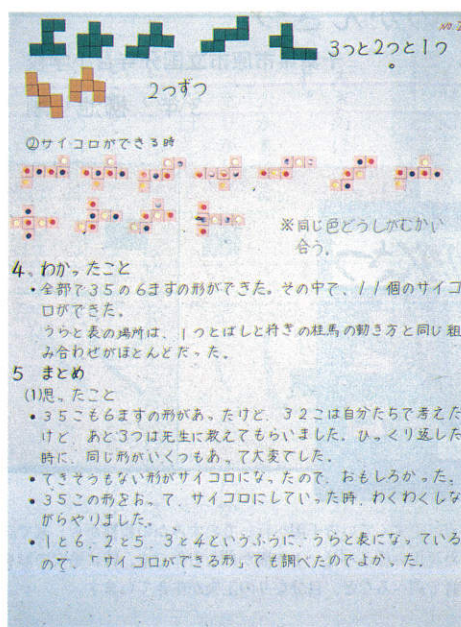
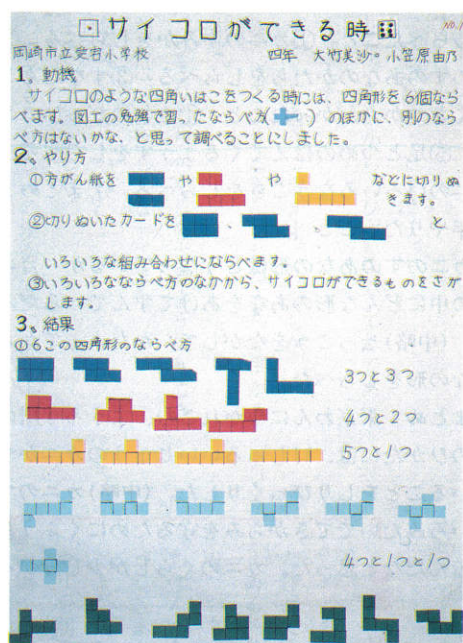
来年も、すばらしい作品が数多く寄せられることを期待します。

文部大臣奨励賞受賞作品

サイコロができる時

愛知県岡崎市立愛宕小学校

4年 大竹美沙・小笠原由乃



ONE POINT アドバイス

●選評●

授業で習った展開図に興味を持ち、自分達で実際に実験したという作品です。

その中でも、サイコロができる時、向かいあった面に目をつけた2人の発想には、すばらしいものを感じます。

結論や考察も書かれていて、研究としてもまとまった形になっています。

「アルファベットサイコロ」
東京都私立聖徳学園小学校
六年 磯 智香子



平面の作品が多い中で、唯一の立体作品として目を引かれました。作っただけでなく、このサイコロを使った遊びなどを考えると、よりすばらしい作品になるでしょう。